

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報 33

—令和6年度—

2025

島根県教育委員会

目次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 令和6年度の調査体制	3
1 組織	3
2 職員一覧	3
II 埋蔵文化財活用事業	4
1 埋蔵文化財調査センター講演会	4
2 現地説明会	4
3 文化財講座『いにしえ倶楽部』	5
4 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	5
5 心に残る文化財子ども塾	5
6 インターンシップ・職場体験	6
7 教員のための博物館の日	6
8 見学等の案内	7
9 職員の講師派遣	7
10 その他	7
11 資料の貸出・調査等	7
III 研究事業	12
IV 研修事業	12
1 埋蔵文化財基礎研修	12
2 埋蔵文化財専門研修	14
V 会議・講習会等参加	15
VI 発掘調査事業	17
1 浜田自動車道4車線化事業に伴う発掘調査	18
2 一級河川江の川直轄河川改修事業（太田地区）に伴う発掘調査	19
3 斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査	20
VII 学術調査ほか	22
1 史跡出雲国府跡	22
2 考古基礎資料調査研究（墓制調査）	23
3 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	24
4 保存処理・理化学分析	24
5 試掘確認・分布調査	27
VIII 県内調査一覧	29
IX 刊行物	31
1 報告書	31
2 パンフレット	31

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日

1992年（平成4）4月1日

所在地

〒690-0131 島根県松江市打出町33番地

電話：0852-36-8608

FAX：0852-36-8025

Eメール：maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

施設の構造

収蔵庫棟：鉄骨造二階建 1990年（平成2）6月竣工 建面積896㎡

本館棟：鉄筋コンクリート造平屋建 1992年（平成4）3月竣工 建面積2,911㎡

ブローアー庫：鉄筋コンクリート造平屋建 1992年（平成4）3月竣工 建面積11㎡

いにしえ学習館棟：鉄骨造三階建 1997年（平成9）3月竣工 建面積1,317㎡

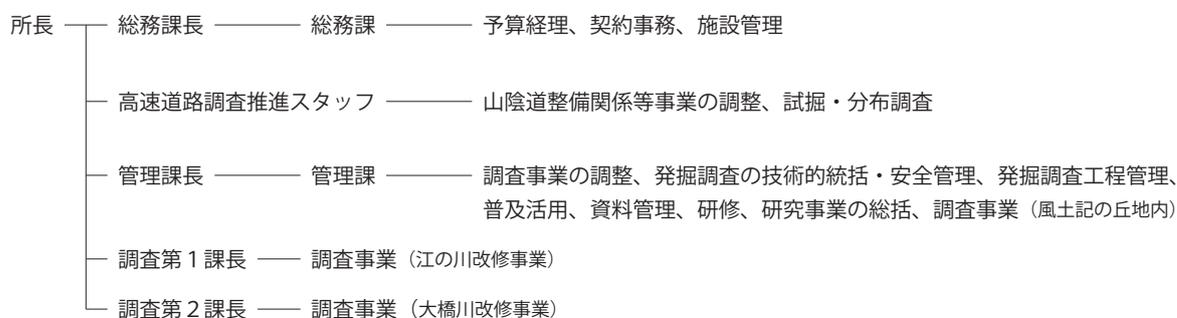
施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ 学習館棟	体験学習室	95㎡
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡
	理化学分析室	35㎡	小計	3,696㎡	
	鉄器処理室	35㎡	プロア庫	プロア庫	11㎡
	木器処理室	35㎡		小計	11㎡
	水洗室	70㎡			
	その他	973㎡		延床面積合計	7,877㎡
	小計	2,550㎡		敷地面積	20,980.61㎡

I 令和6年度の調査体制

1 組織

島根県埋蔵文化財調査センター



2 職員一覧

職名	氏名
所長	池淵 俊一
総務課	
課長	坂本 孝良
主幹	高木信太郎
会計年度任用職員一般事務	三島美葉子
	岩成 真代
	大前 孝之
	岩崎 順治
高速道路調査推進スタッフ	
調整監	勝部 智明
企画幹	大庭 俊次
	熱田 貴保
	宮本 正保
会計年度任用職員調査員	阿部 賢治
同 調査補助員	片寄 雪美
	米田美江子 (～ R6.12.14)
	糸賀 伸文
管理課	
課長	東山 信治
保存活用係長(主幹)	仁木 聡
主幹	伊藤 智
主任	真木 大空
主事	木林 俊英
会計年度任用職員調査補助員	岩橋 康子

職名	氏名
調査第1課	
課長	林 健亮
主幹	稲田 陽介
会計年度任用職員調査補助員	大田 晴美
	幸村 康子
調査第2課	
課長	伊藤 徳広
調査係長(主幹)	神柱 靖彦
主任(再任用)	椿 真治
主任	小田 七奈
会計年度任用職員調査員	園山 薫
	柳浦 俊一
	松山 智弘
同 調査補助員	飯塚 由起
	角森 玲子
	渡邊 真二
	阿部 智子
	福田 市子
	樋野 千晴 (～ R7.11.30)
	糸賀 伸文

II 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

令和6年度はたたら製鉄の高殿地下構造が良好な状態で検出された船津遺跡に焦点を当てた講演会を、以下の通り開催した。

令和6年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会

「たたら研究最前線－石見・桜谷鉦の謎にせまる－」

日 時 : 令和6年11月30日(土) 13:00～16:30 (12:00開場)

会 場 : 江津市地場産業振興センター 3階大ホール

参加者数: 49名

主 催 : 島根県埋蔵文化財調査センター

共 催 : 江津市教育委員会

内 容 : 基調講演「考古学からみるたたら製鉄成立の歴史」

上 梶 武 (岡山県教育庁文化財課 副参事)

報告1「船津遺跡の発掘調査成果について」

稲田 陽介 (島根県埋蔵文化財調査センター 主幹)

報告2「桜谷鉦と江の川下流域のたたら製鉄」

角田 徳幸 (雲南市教育委員会文化財課 課長)

パネルディスカッション

コーディネーター 古瀬 清秀 (広島大学名誉教授)

パネラー 上梶 武・角田徳幸・稲田陽介

2 現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会等を行った。

遺跡名	開催日	場所	参加者	備考
船津遺跡	令和6年8月10日(土)	江津市松川町	10名	地元向け
郷路橋遺跡	令和6年10月7日(月)	邑南町市木	20名	地元向け
史跡出雲国府跡	令和6年11月23日(土)	松江市大草町	50名	
松江城下町遺跡白瀧地区	令和6年11月24日(日)	松江市八軒屋町	50名	
朝酌矢田川遺跡	令和6年11月30日(土)	松江市朝酌町	50名	

3 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催するイベント。今年度は親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部 夏休みスペシャル」を2回実施した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部 連続講座」を2回行った。

【夏休みスペシャル】

内容	実施日	会場	内容	参加者数
古墳時代の鏡を作ろう！	令和6年8月4日(日)	埋蔵文化財調査センター研修室	金属鏡づくり	69名
弥生時代のシジミを調べてみよう！	令和6年8月25日(日)	埋蔵文化財調査センター研修室	シジミ計測研究	17名
				合計 86名

【いにしえ倶楽部連続講座】

演題	実施日	講師	参加者数
しまねの発掘最新情報～出雲・石見の近世遺跡～	令和6年6月6日(土)	伊藤徳広・稲田陽介	30名
出土品の再整理から見た西川津遺跡の弥生集落と暮らし	令和7年3月2日(日)	真木大空	46名
			合計 76名

4 「ふるさと鳥根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材としている。

貸出セット名(セット番号)	申請者	使用目的	貸出期間
1 縄文狩猟セットA(1) 縄文土器セットA(6) 縄文土器セットE(10) 弥生食卓セットA(12) 弥生稲作セットA(15)	安来市立十神小学校	社会科学習で、縄文時代と弥生時代の道具を比較する学習教材として利用するため	6月14日～28日
2 弥生稲作セットB(16) 弥生食卓セットA(14)	松江市立恵曇小学校	社会科の歴史体験として勾玉づくり・火起こし体験に利用するため	6月20日～28日
3 縄文狩猟セットA(1) 縄文採集セットA(4)	鳥根県立松江清心養護学校	社会科学習	10月22日～29日
4 縄文土器セットA(6) 縄文土器セットD(9) 弥生食卓セットA(14)	鳥根県立松江清心養護学校	社会科学習	11月6日～8日
合計			4団体 12セット

5 心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材として、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

番号	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動
1	鳥根県立盲学校	5/31(金)	中学部	2	古代の道具を知ろう	遺物に触れる
2	大田市立温泉津小学校	6/5(水)	6	16	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
3	安来市立安田小学校	6/7(金)	6	8	弥生時代のくらしに触れてみよう ～伯太町の遺跡から見える人々のくらし～	地域学習
4	飯南町立頼原小学校	6/17(月)	6	10	古代の飯南町の歴史を学ぼう ～どんぐりハンバーグづくりに挑戦～	古代食作り
5	松江市立揖屋小学校	6/19(水)	特支	12	古代の人々の生活(お金)について学ぼう	和同開珎作り

II 埋蔵文化財活用事業

番号	学校名	開催日	対象学年	参加人数	テーマ・主題等	体験活動
6	松江市立揖屋小学校	6/20 (木)	6	58	古墳時代～奈良時代の揖屋小周辺の遺跡について	遺跡見学
7	奥出雲町立仁多中学校	6/21 (金)	特支	5	金属鏡作り体験と奥出雲町の古墳時代	金属鏡作り
8	出雲市立荒木小学校	6/25 (火)	6	64	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
9	松江市立中央小学校	6/26 (水)	6	48	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
10	奥出雲町立三沢小学校	6/28 (金)	5・6	7	奥出雲町の遺跡とたたら・鉄について	鍛冶職人体験
11	江津市立郷田小学校	7/1 (月)	6	12	江津の歴史を感じよう～勾玉づくり～	勾玉作り 古代衣装体験
12	安来市立井尻小学校	7/1 (月)	5・6	4	大仏が作られた時代を学ぶ ～安来市の古代遺跡と和同開珎作り～	和同開珎作り
13	松江市立内中原小学校	7/2 (火)	6	88	昔の内中原小学校周辺・大仏作り	大仏パネル
14	益田市立四見小学校	7/3 (水)	5・6	4	古代人の文化に触れてみよう ～土笛づくりを通して見える古代人の生活～	土笛作り
15	益田市立中西小学校	7/3 (水)	6	19	古代人の生活を知る ～益田市の古墳と勾玉づくり～	勾玉作り 遺跡見学
16	安来市立飯梨小学校	7/3 (水)	5・6	10	奈良の大仏と古代の飯梨について	大仏パネル
17	松江市立恵曇小学校	7/4 (木)	6	10	学校周辺の遺跡と奈良の大仏	大仏パネル
18	松江市立城北小学校	7/5 (金)	6	76	はにわ作り体験と松江市の古墳文化	はにわ作り
19	松江市立来待小学校	7/5 (金)	6	19	古代の暮らしを体験してみよう！ ～来待地区周辺の遺跡と和同開珎作り～	和同開珎作り
20	松江市立意東小学校	7/5 (金)	6	35	奈良時代の意東小学校周辺と奈良の大仏	大仏パネル
21	出雲市立伊野小学校	7/8 (月)	6	9	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
22	大田市立静間小学校	7/8 (月)	6	11	古代の人の生活を知り、土器作りを体験しよう	土器作り
23	江津市立江津東小学校	7/10 (水)	6	12	古代人の生活に触れてみよう	古代衣装体験 土器作り 古代食作り 大仏パネル
24	安来市立布部小学校	7/16 (火)	5・6	5	布部の古墳時代と勾玉づくり	勾玉作り 古代衣装体験
25	松江市立川津小学校	7/16 (火)	6	142	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
26	出雲市立斐川東中学校	9/6 (金)	1	85	出雲の歴史や古代の文化を知ろう	はにわ作り
27	出雲市立朝陽小学校	9/12 (水)	6	34	奈良時代と奈良の大仏	大仏パネル
28	松江市立佐太小学校	11/14 (木)	6	14	縄文時代～古墳時代の学校周辺の遺跡について	資料館・ 遺跡見学

合計 28 校 のべ参加児童生徒 819 人

6 インターンシップ・職場体験

学校及び希望者からの依頼を受け、以下のとおりインターンシップ・職場体験を受け入れた。

実施日	学校等	実施内容
8月26日～29日	龍谷大学学生1名	研修・保存処理・現場の見学・活用事業・整理作業等
9月11日～13日	美郷町立大和中学校生徒1名	研修・現場の見学と実習

7 教員のための博物館の日

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を島根県立古代出雲歴史博物館と共催で年1回開催している。今年度もこれまでと同様に「教員のための博物館の日」として、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。

開催日：令和6年8月8日(水) 13:00～15:30

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

会場：古代出雲歴史博物館

参加者：10名

内容：13:00～14:00 埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明

14:10～15:00 ワークショップ(低融点と同開珎・金属鏡づくり)

8 見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時に希望者に対し見学受入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。

(1) 埋文センター見学案内

実施日	見学者(団体)	時間	人数	見学案内	体験活動
令和6年8月14日	障害者就労支援事業所すずしろ	90分	7名	所内	勾玉作り
令和6年9月5日	公益財団法人福島県文化振興財団	120分	5名	所内	

(2) 発掘調査現場見学案内

実施日	見学者(団体)	時間	人数	場所
令和6年7月5日	白湯まち歩き案会	60分	10名	白湯本町・八軒屋町地内

9 職員の講師派遣

各種団体等からの依頼を受け講演会や発掘調査指導のため職員派遣を行った。

派遣日	内容	場所	派遣依頼者	講師
令和6年6月19日	持田の古墳見学(社会科)	松江市薄井原古墳	松江市立持田小学校長	仁木 聡 真木大空
令和6年12月15日	歴史講座「アダカエ(出雲郷)のルーツについて」	東出雲公民館	東出雲公民館運営協議会長 東出雲公民館長	池淵俊一
令和7年 2月8日～12日	科学研究費による韓国での資料調査への参加	大韓民国ソウル特別市 釜山広域市 古城郡	島根大学法文学部長	松山智弘
令和7年3月15日	石西の文化を学ぶれんげ草の会3月講演会	益田市立図書館 2階講義室	石西の文化を学ぶれんげ草の 会世話人代表	熱田貴保

10 その他

①古志原小学校保護者会「親子古代体験学習」への参加

主 催：松江市立古志原小学校保護者会3年部
期 日：令和6年6月23日(日)
会 場：松江市立古志原小学校 体育館
内 容：勾玉づくり体験

②「サン・レイクフェスティバル」への参加

主 催：島根県立青少年の家 サン・レイク
期 日：令和6年10月20日(日)
会 場：島根県立青少年の家 サン・レイク
内 容：勾玉づくり体験

11 資料の貸出・調査等

(1) 資料調査(令和6年1月4日～12月27日までに申請があったもの)

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

II 埋蔵文化財活用事業

【令和5年度1～3月】

番号	資料名	点数	申請者	月日
1	西Ⅰ遺跡出土玉類ほか	17	荒神谷博物館職員	1月16日
2	西川津遺跡木製品ほか	8	古代出雲歴史博物館職員	1月25日
3	古八幡付近遺跡土製品ほか	7	古代文化センター職員	1月25日
4	原の前遺跡土器ほか	174	埋蔵文化財調査センター職員	2月1日～3月31日
5	上塩冶横穴墓群出土金糸	1	出雲市文化財課職員	2月10日・11日
6	オノ峠遺跡硯ほか	107	古代文化センター職員	2月13日・14日
7	タテチヨウ遺跡出土木製品	2	小松市埋蔵文化財センター職員	2月13日
8	青木遺跡出土絵画土器	1	古代文化センター職員	2月16日
9	隠岐国分尼寺跡遺跡出土瓦ほか	198箱	古代出雲歴史博物館職員	2月15日・16日
10	尼寺原遺跡出土鉄製品	3	個人	2月16日
11	森原下ノ原遺跡土器ほか	140	古代出雲歴史博物館職員	2月21日
12	門遺跡出土須恵器ほか	9	埋蔵文化財調査センター職員	2月21日～3月8日
13	板屋Ⅲ遺跡出土土器ほか	73	埋蔵文化財調査センター職員	2月26日～3月15日
14	西川津遺跡出土玉類ほか	28	埼玉県民広聴課職員	2月26日・27日
15	出雲国府跡出土硯ほか	38	古代文化センター職員	3月5日
16	中竹矢遺跡出土玉類ほか	284	奈良女子大学教授	3月12日
17	中野清水遺跡出土土器	1	東海大学教授	3月14日
18	蔵小路西遺跡非掲載資料一式	25箱	島根大学教授・学生	3月19日
19	下山遺跡土器ほか	28	埋蔵文化財調査センター職員	3月19日～4月15日
20	森原下ノ原遺跡出土石器	342	埋蔵文化財調査センター職員	3月28日～4月30日
21	西川津遺跡石器	1	古代文化センター職員	3月15日～27日
22	古志本郷遺跡出土土器	2	古代文化センター職員	3月28日～

【令和6年度4月～12月】

番号	資料名	点数	申請者	月日
23	蔵小路西遺跡出土陶磁器ほか	85	出雲弥生の森博物館職員	4月22日
24	中原遺跡出土土器ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	4月18日・19日
25	西川津遺跡（海崎地区）弥生土器	一式	古代出雲歴史博物館職員	4月17日～8月19日
26	宮内遺跡出土杯蓋ほか	6	埋蔵文化財調査センター職員	4月17日・18日
27	平ノ前遺跡出土鉄器	10	古代文化センター職員	4月25日
28	西川津遺跡出土獣骨	3	古代文化センター職員	4月25日
29	上塩冶横穴墓群第23支群5号穴銅椀	1	出雲弥生の森博物館職員	5月8日（～16日）
30	富田川河床遺跡出土陶磁器ほか	79	古代出雲歴史博物館職員	5月10日～13日
31	西川津遺跡出土土器	51	埋蔵文化財調査センター職員	5月15日～31日
32	富田川河床遺跡出土陶磁器ほか	17	古代出雲歴史博物館職員	5月20日～28日
33	下古志遺跡土器ほか	15	荒神谷博物館職員	5月24日
34	富田川河床遺跡出土切銀	4	古代文化センター職員	5月27日・28日
35	中祖遺跡出土瓦ほか	4	古代出雲歴史博物館職員	5月27日～6月14日
36	国府出土土器ほか	4	埋蔵文化財調査センター職員	5月30日・31日
37	原田遺跡出土石器	22	立命館大学文学部学生	5月31日
38	中山古墳群図面類	7箱	個人	6月4日
39	朝酌矢田Ⅱ遺跡土器ほか	51	八雲立つ風土記の丘職員	6月5日
40	中野美保遺跡剣模鋳品ほか	9	埋蔵文化財調査センター職員	6月7日
41	上塩冶横穴墓群鉄器	162	古代文化センター職員	6月11日・12日
42	西川津遺跡骨角器	8	鹿島歴史民俗資料館職員	6月13日
43	富田川河床遺跡出土切銀	4	古代文化センター職員	6月14日
44	サルガ鼻出土土器ほか	25	八雲立つ風土記の丘職員	6月18日
45	島田池遺跡出土須恵器	10	埋蔵文化財調査センター職員	6月19日・20日
46	熊谷遺跡出土鏡ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	6月20日・21日

番号	資料名	点数	申請者	月 日
47	出雲国府跡出土銀製と同開珎銀銭	1	専修大学文学研究科学生	6月25日
48	古曾志1号墳出土須恵器ほか	7	八雲立つ風土記の丘職員	6月26日
49	原田遺跡出土旧石器ほか	19	埋蔵文化財調査センター職員	6月28日
50	森原下ノ原遺跡出土玉類ほか	10	埋蔵文化財調査センター職員	6月28日～7月2日
51	富田川河床遺跡出土陶磁器ほか	585	加納美術館職員	7月4日
52	田中谷遺跡出土土器・模鑄品	6	古代文化センター職員	7月3日・4日
53	塚山古墳出土埴輪ほか	24	埋蔵文化財調査センター職員	7月4日・5日
54	勝負廻1遺跡出土金属玉ほか	13	古代文化センター職員	7月4日・5日
55	静岡城跡・平ノ前遺跡出土土器ほか	8	世界遺産室職員	7月5日～8日
56	青木遺跡出土土器ほか	9	埋蔵文化財調査センター職員	7月5日～8日
57	サルガ鼻洞窟縄文土器	2	埋蔵文化財調査センター職員	7月8日～31日
58	森原下ノ原遺跡出土土器ほか	16	埋蔵文化財調査センター職員	7月9日・10日
59	富田川河床遺跡出土天目茶碗	10	古代文化センター職員	8月1日
60	原田遺跡出土土器	128	立命館大学文学部学生	8月1日・2日
61	古志本郷遺跡出土陶硯	2	古代文化センター職員	8月3日
62	荒神谷銅鐸実測図ほか	2	古代出雲歴史博物館職員	8月1日～7日
63	庵寺遺跡出土青銅鏡ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	8月2日～5日
64	富田川河床遺跡切銀	4	古代文化センター職員	8月20日
65	上塩冶横穴墓群出土土器ほか	55	出雲弥生の森博物館職員	8月21日
66	西川津遺跡出土釣針ほか	23	埋蔵文化財調査センター職員	8月23日～26日
67	富田川河床遺跡出土陶磁器	5	埋蔵文化財調査センター職員	8月26日～30日
68	貝谷遺跡出土縄文土器ほか	119	九州大学総合研究博物館職員	9月3日・4日
69	塚山古墳出土埴輪ほか	4	埋蔵文化財調査センター職員	9月6日
70	原田遺跡出土旧石器	142	南山大学大学院生	9月9日～11日
71	上野II遺跡出土鉄刀	1	古代文化センター職員	9月2日～10月31日
72	中山古墳群出土土器ほか	7箱	個人	9月15日
73	中山古墳群出土土器ほか	7箱	個人	9月17日
74	中山古墳群出土土器ほか	7箱	個人	9月24日
75	西川津遺跡出土木製品ほか	48	荒神谷博物館職員	10月2日
76	浜寄・地方遺跡出土土器	18	埋蔵文化財調査センター職員	10月4日～7日
77	郷路橋遺跡出土縄文土器	6	埋蔵文化財調査センター職員	10月4日～8日
78	門遺跡出土流水文土器ほか	71 + α	古代出雲歴史博物館職員	10月15日～1月31日
79	西川津遺跡・布田遺跡出土玉作関連資料	177	石川県埋蔵文化財センター職員	10月18日
80	原田遺跡旧石器時代安山岩製石器	109	個人	10月21日
81	古曾志清水遺跡出土土器ほか	209 + α	NHK	10月22日
82	高浜I遺跡将棋盤・駒	4	鹿児島県立埋蔵文化財センター職員	10月24日
83	古志本郷遺跡出土絵画土器ほか	18	個人	10月28日
84	古屋敷遺跡D区木棺材・杭・棧	17	古代出雲歴史博物館職員	10月29日
85	板屋II遺跡出土流水文土器	1	古代出雲歴史博物館職員	11月5日～1月31日
86	北原本郷遺跡出土流水文土器	1	古代出雲歴史博物館職員	11月20日～1月31日
87	西川津遺跡動物遺存体	一式	広島大学総合博物館職員	11月25日・26日
88	松ヶ丘遺跡出土品	1箱	古代出雲歴史博物館職員	11月26日～29日
89	原田遺跡出土旧石器	142	南山大学大学院生	12月6日
90	山持遺跡注口土器	13	島根大学学生	12月9日
91	タテチヨウ遺跡出土流水文土器	1	古代出雲歴史博物館職員	12月2日～1月31日
92	タテチヨウ遺跡III出土壺・塩町式土器	3	古代出雲歴史博物館職員	12月5日
93	竹ノ崎遺跡出土把手形土器	1	古代出雲歴史博物館職員	12月13日
94	布田遺跡弥生時代出土土器製品ほか	128 + α	八雲立つ風土記の丘職員	12月11日

II 埋蔵文化財活用事業

(2) 写真資料等（令和6年1月4日～12月27日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

【令和5年度1月～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	御崎谷遺跡ダニエル電池	1	古代出雲歴史博物館	企画展	1月4日
2	荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	3	荒神谷博物館	企画展	1月9日
3	三田谷Ⅰ遺跡出土土器実測図	2	高知大学	書籍掲載	1月10日
4	西川津遺跡出土土製品ほか	14	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	1月16日
5	松江城下町遺跡白瀧地区写真	16	NHK	テレビ番組	1月23日
6	西川津遺跡漆入り土器・原木	1	松江市	Web公開	2月6日
7	山代二子塚古墳調査風景	3	文化財課	看板掲載	2月14日
8	御崎谷遺跡「調査後全景（北より）」ほか	2	古代出雲歴史博物館	企画展	2月19日
9	荒神谷遺跡調査風景ほか	12	荒神谷博物館	HP掲載	2月27日
10	平ノ前遺跡黒色磨研土器	3	出雲弥生の森博物館	紀要掲載	3月3日
11	富田川河床遺跡陶磁器	9	堺市文化財課	講演会	3月11日
12	荒神谷遺跡の調査風景ほか	10	荒神谷博物館	写真パネル	3月18日
13	古曾志大谷1号墳復元模型空撮写真	1	古代歴史文化協議会	協議会広報	1月8日
14	荒神谷遺跡青銅器出土状況	1	文化財課	書籍掲載	2月19日
15	桜谷鈿跡調査風景	1	ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	3月22日

【令和6年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
16	朝酌矢田Ⅱ遺跡遠景	1	島根考古学会	チラシ	4月15日
17	西川津遺跡出土アシカ骨	3	古代文化センター職員	新聞連載	4月15日
18	山代原古墳遺構写真ほか	3	松江市松江城史料調査課	書籍掲載	4月19日
19	中祖遺跡遠景	1	古代出雲歴史博物館職員	講座資料掲載	4月22日
20	西川津遺跡出土土器	1	個人	ポスター掲載	5月17日
21	松江城下町遺跡白瀧3A区建物跡	1	ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	5月22日
22	朝酌矢田Ⅱ遺跡調査風景	5	八雲立つ風土記の丘	速報展	5月24日
23	加茂岩倉遺跡調査風景	1	八雲立つ風土記の丘	夏季企画展	5月27日
24	荒神谷遺跡調査風景	16	出雲ケーブルビジョン	テレビ番組	5月31日
25	蔵小路西遺跡調査風景ほか	5	出雲弥生の森博物館	企画展	6月10日
26	荒神谷遺跡調査風景ほか	20	荒神谷博物館	特別展	6月9日
27	青木遺跡Ⅱ遺構平面図ほか	1	京丹後市教育委員会	テレビ番組	6月13日
28	荒神谷遺跡出土青銅器	1	育鷗社	教科書掲載	6月3日
29	シコノ谷遺跡出土サメの歯	1	海とくらしの史料館	30周年展	6月12日
30	荒神谷遺跡発掘調査風景	1	山陰中央新報	新聞掲載	6月20日
31	荒神谷遺跡銅鐸	1	悠工房	夏期学習テキスト掲載	6月25日
32	造山3号墳	4	安来市教育委員会	現地案内板	6月27日
33	富田川河床遺跡	2	加納美術館	企画展	7月4日
34	荒神谷遺跡青銅器	3	荒神谷博物館	特別展	7月2日
35	北原本郷遺跡台石	1	古代文化センター職員	新聞連載	7月5日
36	原田遺跡配石墓ほか	8	古代文化センター職員	講座・YouTube	7月10日
37	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	株式会社ビジネス社	書籍掲載	7月11日
38	山代原古墳遺構	3	八雲立つ風土記の丘	企画展	7月17日
39	荒神谷遺跡発掘調査風景ほか	14	荒神谷博物館	ホール展	7月18日
40	上野1号墳埴輪実測図	2	京丹後市教育委員会	テレビ番組	7月25日
41	荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	宝島社	書籍掲載	8月5日
42	荒神谷博物館空撮	1	荒神谷博物館	写真パネル	8月6日
43	山代二子塚古墳調査風景	8	松江市文化財課	講演会	8月12日
44	静間城跡主郭遺構配置図ほか	4	古代出雲歴史博物館	企画展	8月21日
45	岡田山1号墳調査風景	2	三次風土記の丘	企画展	8月29日
46	荒神谷・加茂岩倉遺跡風景・出土品	22	神戸市立博物館	特別展	9月5日
47	荒神谷遺跡発掘状況ほか	35	個人	企画展講座	8月2日
48	荒神谷遺跡出土状況	2	荒神谷博物館	研究発表	10月2日
49	古屋敷遺跡水田ほか	23	荒神谷博物館	企画展	10月11日
50	普源田砦跡ほか	36	益田市教育委員会	講座	10月9日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
51	荒神谷遺跡発掘調査風景	10	出雲ケーブルビジョン	広報番組	10月14日
52	浜寄・地方遺跡遺構写真	2	荒神谷博物館	企画展	10月22日
53	朝酌矢田Ⅱ遺跡石敷き	1	米原市教育委員会	シンポジウム	11月1日
54	荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡出土状況	2	古代出雲歴史博物館	交流会	11月13日
55	姫原西遺跡杭列検出状況	1	東海シニア自然大学	書籍掲載	11月21日
56	朝酌矢田Ⅱ遺跡調査状況	2	中国新聞社松江支局	新聞掲載	11月28日
57	相生遺跡陶器	1	古代文化センター	新聞連載	12月17日
58	荒神谷遺跡出土の銅剣	1	(株)KADOKAWA	書籍掲載	12月3日
59	庵寺古墳群 遠景(南東)から	1	大田市教育委員会石見銀山課	講座広報	11月29日

(3) 資料貸出(令和6年1月4日～12月27日までに申請があったもの)

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出しを行っている。

【令和5年度1～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	西川津遺跡土製品ほか	14	弥生の森博物館	ギャラリー展	2月2日～6月17日
2	西Ⅰ遺跡玉類ほか	14	荒神谷博物館	リニューアル展	3月4日～6月3日
3	兵庫遺跡土師器ほか	17	古代出雲歴史博物館	企画展	2月26日～6月29日
4	中竹矢遺跡瓦ほか	13	八雲立つ風土記の丘	企画展	3月1日～6月26日

【令和6年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
5	荒神谷遺跡出土土器ほか	12	荒神谷博物館	常設展	4月1日～3月31日
6	大東高校グランド遺跡出土玉未製品	4	出雲玉作資料館	常設展	4月1日～3月31日
7	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	4月1日～3月31日
8	オの峠遺跡出土須恵器ほか	613	八雲立つ風土記の丘	常設展	4月1日～3月31日
9	古志本郷遺跡出土土器ほか	280	出雲弥生の森博物館	常設展	4月1日～3月31日
10	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	21	鳥根県立三瓶自然館	常設展	4月1日～3月31日
11	石見銀山遺跡出土土壁	1	大田市教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
12	今佐山遺跡出土砂鉄ほか	2	和銅博物館	常設展	4月1日～3月31日
13	前立山遺跡出土土器ほか	221	吉賀町教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
14	原田遺跡出土石斧ほか	1574	古代出雲歴史博物館	常設展	4月1日～3月31日
15	神原Ⅱ遺跡出土流水文土器	4	古代出雲歴史博物館	常設展示	4月10日～11月29日
16	蔵小路西遺跡常滑焼・甕ほか	47	弥生の森博物館	企画展	6月5日～9月9日
17	荒神谷遺跡日誌ほか	281	古代出雲歴史博物館	特別展	6月14日～9月26日
18	下古志遺跡出土弥生土器ほか	15	荒神谷博物館	特別展	6月21日～10月11日
19	朝酌矢田Ⅱ遺跡出土須恵器ほか	30	八雲立つ風土記の丘	スポット展	6月17日～11月7日
20	サルガ鼻洞窟遺跡出土縄文土器ほか	21	八雲立つ風土記の丘	企画展	7月2日～9月6日
21	古曾志大谷1号墳出土須恵器ほか	7	八雲立つ風土記の丘	特別展	8月26日～11月29日
22	西川津遺跡出土骨角器	8	鹿島歴史民俗資料館	特別展	9月26日～1月23日
23	富田川河床遺跡鍬形ほか	120	古代出雲歴史博物館	企画展	9月30日～12月12日
24	富田川河床遺跡陶磁器ほか	1043	加納美術館	企画展	7月22日～10月7日
25	上塩冶横穴墓群第21支群10号穴金系ほか	50	弥生の森博物館	企画展	9月9日～1月8日
26	タテチヨウ遺跡出土諸手鍬ほか	46	荒神谷博物館	企画展	10月15日～2月26日
27	中竹矢遺跡鉢ほか	120+ α	八雲立つ風土記の丘	企画展	12月23日～3月17日

Ⅲ 研究事業

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出しに応じている。

【令和6年度4月～12月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	棒やすり・火起こしセット	20	松江市立恵曇小学校	社会科学学習(勾玉づくり・火起こし体験)	6月20日～28日
2	火起こしセット	1	TSKさんいん中央テレビ	火起こし体験練習	9月18日～10月8日
3	火起こしセット	4	TSKさんいん中央テレビ	火起こし体験イベント	10月1日～8日
4	火起こしセット	1	安来市立山佐小学校	火起こし体験	10月4日～10日

(5) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用している。

2024年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アクセス数	1,952	2,053	2,483	3,080	2,662	2,780	2,217	2,333	1,881	2,017	2,105	2,207	27,770

Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、基礎研究「風土記調査研究事業」及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細業	当センターの担当者
考古基礎資料調査研究事業：墓制調査	①前期古墳の基礎的研究 ②横穴式石室の基礎的研究	仁木・伊藤智・稲田・伊藤徳
考古基礎資料調査研究事業：基礎資料収集調査	①出土品再整理 ②日韓交流の基礎的研究	真木・勝部・椿
考古基礎資料調査研究事業：生産遺跡調査	①古代窯業生産調査 ②近世近代在地陶磁器調査	勝部・神柱・鈴木・木林
テーマ研究	島根県域における弥生社会の総合的研究	真木
	前期古墳の研究	仁木・椿
	鋳物と鋳物師の研究	東山
	律令制下における地方行政の研究	伊藤智
	幕末維新期の島根県域における地域社会の変容	伊藤徳
	環日本海の考古学的研究	宮本

Ⅳ 研修事業

1 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は下記のとおり実施した。

【埋蔵文化財基礎講座】

日 時：令和6年4月15日(月)～4月19日(金)

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室、いにしえ学習館体験学習室ほか

参加：松江市埋蔵文化財調査課 3名、安来市教育委員会文化財課 1名、海士町教育委員会 1名、西ノ島町教育委員会 1名 合計 6名

講師：島根県教育庁文化財課職員及び埋蔵文化財調査センター職員

内容：(1) 島根県埋蔵文化財調査センター所長講話
 (2) 文化財保護法行政の歩みと文化財行政の現状
 (3) 埋蔵文化財保護行政の事務手続き
 (4) 発掘調査に関連した諸科学
 (5) 考古学概説Ⅰ 旧石器時代・縄文時代
 (6) 考古学概説Ⅱ 弥生時代
 (7) 考古学概説Ⅲ 古墳時代
 (8) 考古学概説Ⅳ 奈良・平安時代
 (9) 考古学概説Ⅴ 中近世
 (10) 遺構・遺物の実測概論・実習
 (11) 文化財写真概論・実習
 (12) 報告書の作成と収蔵・活用
 (13) 発掘調査の計画と安全管理

【実技講座Ⅰ】

日時：令和6年6月6日(木)・6月7日(金)

場所：埋蔵文化財調査センター研修室、堀部1号墳、松江城下町遺跡白潟4A区

参加：松江市埋蔵文化財調査課 1名 合計 1名

講師：島根県埋蔵文化財調査センター職員

内容：(1) 測量の基礎・土層の認識
 (2) 実測実習Ⅰ レベル・トータルステーション・平板の取扱い
 (3) 実測実習Ⅱ 遺構測量
 (4) 実測実習Ⅲ 調査現場での遺構図・3D実測図等作成
 (5) 実測実習Ⅳ 調査現場での遺構図・3D実測図等作成

【実技講座Ⅱ】

申込者がなかったため、実施せず。

【実技講座Ⅲ】

日時：令和7年2月19日(水)・1月20日(木)

場所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加：西ノ島町教育委員会 2名、海士町町教育委員会 1名 合計 3名

講師：島根県埋蔵文化財調査センター職員

内容：(1) 報告書作成の意義
 (2) 報告書の構成と記載事項
 (3) 発掘記録類の基礎整理
 (4) 報告書作成の技術Ⅰ デジタルトレースと図版作成実習Ⅰ
 (5) 報告書作成の技術Ⅰ デジタルトレースと図版作成実習Ⅰ

(6) 報告書の編集 - 編集ソフトの操作等 -

2 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

【第1回】

日 時：令和6年6月13日（木）13:30～16:10

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員7名（うちオンライン受講2名）

テーマ：デジタル技術を活用した発掘調査・報告書作成の実践例

報告1「出雲西部における後期古墳出土品の再評価について」

坂本豊治（出雲弥生の森博物館 博物館学芸係長）

報告2「博物館の展示・研究における文化財保存科学の役割」

澤田正明（島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員）

【第2回】

日 時：令和6年7月1日（月）14:00～16:00

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者：市町村職員8名（うちオンライン受講2名）

テーマ：石器の使用痕分析について

報告「西川津遺跡石器再整理の現状と課題」

真木大空（島根県埋蔵文化財調査センター 主任主事）

解説「石器の使用痕分析」

原田 幹（あいち朝日遺跡ミュージアム館長・愛知県埋蔵文化財調査センター所長）

資料観察「石器の使用痕分析」

同 上

【第3回】

日 時：令和6年7月19日（金）10:00～12:00

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参加者：市町村職員9名（うちオンライン受講2名）

テーマ：石材鑑定の概要と県内の石材産地について

解説・演習「石材鑑定の概要と県内の石材産地について」

中村唯史（島根県立三瓶自然館サヒメル 企画情報課長）

解説・演習「松江市西川津遺跡の石器石材鑑定の実演」

同 上

【第4回】

日 時：令和6年10月18日（金）13:30～16:10

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員2名（うちオンライン受講2名）

テーマ：「隠岐」を見れば日本がわかる！ - テーマ研究・「隠岐」の成果報告 -
 島根県古代文化センター・テーマ研究事業「古代隠岐の形成と特質」成果報告
 報告1「テーマ研究「隠岐」の研究成果」

久保田一郎（島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員）

報告2「食住に関する遺構・遺物からみた古代隠岐地域の諸相」

岩橋孝典（島根県文化財課世界遺産室 課長補佐）

【第5回】

日 時：令和7年3月7日（金）10:00～16:10

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：市町村職員4名（うちオンライン受講1名）

テーマ：令和6年度 県内遺跡発掘調査報告会

報告1「松江市・史跡出雲国府跡」

伊藤 智（島根県埋蔵文化財調査センター 主幹）

報告2「江津市・船津遺跡の調査」

林 健亮（同 調査第一課長）

報告3「松江市・松江城下町遺跡白潟地区の調査」

神柱靖彦（同 調査第二課調査係長）

報告4「松江市・朝酌矢田Ⅱ遺跡」

小田七奈（同 主任）

報告5「松江市・八幡鹿島山遺跡の調査」

今岡友佳（松江市埋蔵文化財調査課主任主事）

報告6「出雲市・屋敷谷Ⅱ遺跡」

幡中光輔（出雲市文化財課主任）

報告7「大田市・川合神社周辺遺跡の調査」

中田健一（大田市教育委員会石見銀山課 課長補佐）

報告8「益田市・中世七尾城下町遺跡の調査」

佐伯昌俊（益田市文化財課主任主事）

V 会議・講習会等参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会のほか、文化庁主催の講習会に参加した。

【総 会】

開催日：令和6年5月30日（木）・31日（金）

開催地：青森県盛岡市 アートホテル盛岡

【研修会】

開催日：令和6年10月17日（木）・18日（金）

開催地：須玉ふれあい会館（北杜市須玉）

【中国・四国・九州ブロック会議】

開催日：令和6年11月28日（木）・29日（金）

開催地：倉敷市立美術館ほか

参加者：14機関18名（島根県を除く）

議 事 1 役員について

2 令和7年度ブロック会議の開催地について

3 協議事項

1 出土金属器の保管について

2 保存処理を行っていない木製品の保管について

3 デジタルデータの保管状況について

4 出土木製品・金属製品の保存処理について

5 河川に面した遺跡の発掘調査方法について

6 埋蔵文化財調査センター内の展示に関わる職員について

7 調査時に出た排土の搬出方法について

8 作業員（会計年度任用職員）の年齢について

9 デジタルデータ保存に係るクラウド利用について

10 発掘調査現場の活用について

11 発掘調査における三次元計測技術の導入状況について

12 法93・94条に基づく工事立会の際、出土品の権利放棄を頂くタイミングについて

13 近年の豪雨や自然災害による発掘調査現場における維持管理状況について

14 埋蔵文化財包蔵地の有無の事前確認における事務処理の工夫について

15 ボランティアと協働で実施する活用事業について

16 学校や地域と連携した活用事業について

17 デジタルコンテンツの制作事例について

18 労働安全衛生規則等の改正に伴うリスクアセスメント対象物の取扱いについて

19 発掘調査・整理作業・報告書作成における業務委託の監理監督について

20 3Dプリンターによる出力資料（レプリカ等）の普及事業への活用例について

21 収蔵資料の地震対策について

22 会計年度任用職員の状況について

23 収蔵庫管理・整理専任の会計年度任用職員の任用について

24 ハンズオン展示について

25 3次元測定の発掘調査・資料整理への導入及びその活用について

26 セルロイド製品の保存管理について

施設見学 岡山県指定史跡および国指定史跡楯築遺跡（王墓の丘史跡公園）を視察

【埋蔵文化財担当者講習会】

開催日：令和6年9月18日（木）（オンライン参加）

VI 発掘調査事業

受託事業

令和6年度は3事業4遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は浜田自動車道4車線化事業、江の川改修事業および大橋川改修事業である。

浜田自動車道4車線化事業では、郷路橋遺跡で19世紀後半に大鍛冶場跡から排出されたと考えられる鍛冶関連遺物による埋立を3ヵ所検出した。また、近世にさかのぼると考えられる石列を検出した。江の川改修事業では、江津市船津遺跡で縄文時代の生活面を検出したほか、戦国期の墓や中世にさかのぼる製鉄遺構を調査した。大橋川改修事業では、朝酌矢田Ⅱ遺跡K区で、弥生時代後期の四隅突出型墳丘墓を調査した。同事業の松江城下町遺跡白潟3区では、近世の町屋を区画する石列や井戸跡など、多種多様な遺構を4層にわたって検出した。

学術調査

史跡出雲国府跡では政庁域東側の調査をおこなった。古墳時代後期から飛鳥時代（7世紀末頃）、奈良時代末頃から平安時代初め頃（8世紀末頃）、平安時代末頃（11世紀末頃）、中世以降の4時期に整地・造成が行われ各時期の遺構が存在することが確認された。このうち8世紀末頃の東西方向の溝2条とその間に築かれた土手状の高まりが検出された。

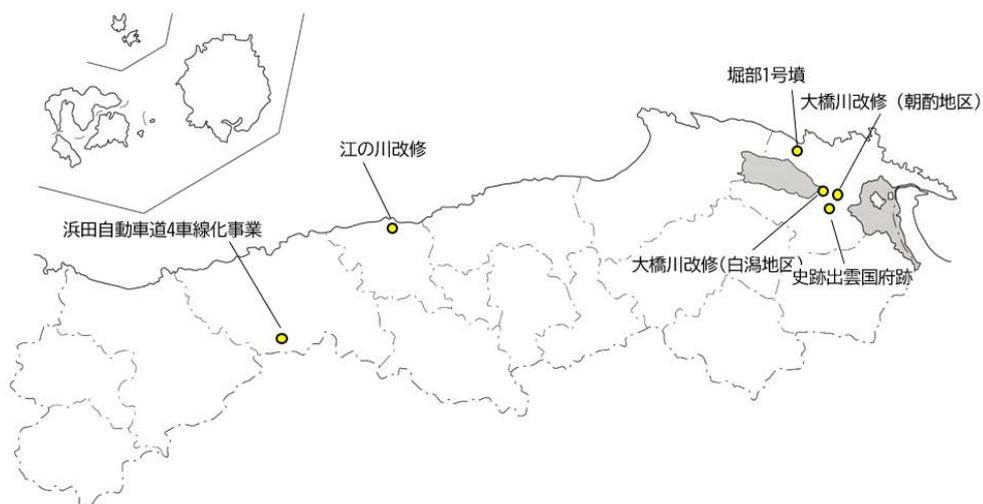
墓制調査では、松江市鹿島町堀部1号墳の発掘調査を実施し、全長70mの前方後円墳であることが確定した。また埋葬施設が後円部墳頂部に1基存在することも明らかとなった。埋葬施設としては竪穴式石槨を有する可能性がある。

試掘・分布調査

令和6年度は、益田西道路・益田田万川道路建設予定地内、大橋川改修事業予定地内（朝酌地区）、松江北道路建設予定地内、国道432号大庭バイパス建設予定地内の試掘調査および分布調査を実施した。

報告書作成

今年度は、浜田自動車4車線化事業の郷路橋遺跡および再整理事業の西川津遺跡の調査・整理報告書を刊行した。



令和6年度 発掘調査箇所位置図

1 浜田自動車道4車線化事業に伴う発掘調査

事業概要 この調査は西日本高速道路株式会社から委託を受けて令和6年度に実施した。令和5年度に国庫補助事業で実施した試掘確認調査に続き、今年度は郷路橋遺跡の本調査を実施した。

調査期間は令和6年6月11日から同11月29日まで、調査面積は442㎡、調査体制は調査員1名、調査補助員2名で実施した。

調査の概要 郷路橋遺跡は島根県邑智郡邑南町市木に所在する。遺跡は市木の猪子谷の出口に広がる沖積地にある。

谷の幅は150m足らずと狭小である。遺跡範囲は、八戸川を挟んでその両側山裾に、細長く広がっている。今回調査対象となった地点の標高は430mから432mである。昭和60年代に中国横断自動車道広島浜田線の事業用地となる前は棚田水田として利用されていた。今回の調査区から40m南東の山腹において昭和の調査で18世紀代から19世紀中頃にかけて操業していた大鍛冶場が確認されており、そこから排出された椀形鍛冶滓など鍛冶関連遺物を埋め立てて利用して水田を構築した様子を検出した。これらの遺物の中には同時期の18世紀代から19世紀にかけての貿易陶磁器や国産陶磁器が含まれる。大鍛冶場が廃絶された後に大鍛冶場自体を解体して水田に変え、周囲の水田も同時に整備改修したものと考えられ、その過程で排滓が利用されたものと考えられる。この改修した近世末から近代の水田の下層には、一段古い近世水田の痕跡とみられる石垣の石列が残っており、近代水田とは水田構築の方向が違っていたことがわかった。その下層では、土壌の自然科学的分析によって奈良時代の水田の可能性が高い土層が確認された。市木地内には県内最古級の6世紀末の製鉄遺構をとまなう今佐屋山遺跡があり、これに続く時代に谷間の沖積地で水田が営まれていた様相も考えられる。また、さらにその下層では、これも自然科学的分析の成果として弥生時代前期に埋まった自然流路を検出しており、当時、現在の八戸川に並行して猪子山の山裾に沿う水流や湿地帯が存在していたことがわかった。

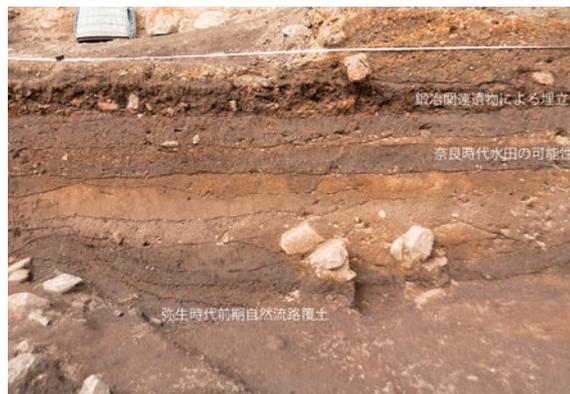
まとめ 今回の調査では、江戸時代の大鍛冶場に関する鍛冶関連遺物や水田開発にかかる遺構、自然科学的分析の成果などを通じて、猪子谷の歴史の一端を明らかにすることができた。（大庭俊次）



郷路橋遺跡の位置



郷路橋遺跡全景（北東から空中撮影）



2区北壁土層

2 一級河川江の川直轄河川改修事業（太田地区）に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて平成29年度から実施している。今年度は令和4・5年度に続いて船津遺跡(下層)の調査を行った。

調査期間は令和6年5月13日から同11月3日、調査対象面積は560㎡、調査体制は調査員1名、調査補助員2名で実施した。

調査の概要 本遺跡は江津市松川町太田に所在し、江の川河口から4km遡った右岸の、江の川に

注ぎ込む支流(西川)の河岸段丘上に立地する。標高は約9mだったが、3か年にわたり本田窯跡、桜谷鉦跡と掘り進めてきており、今年度の主要遺構は約6m付近からを中心に展開する。遺跡東側の尾根上には14世紀の越前焼を出土した千本崎城跡が、遺跡北側には桜谷鉦の経営にも関わった石田家跡の巨大な石垣が残されている。

前年度調査による近世製鉄遺構の地下構造の前面には大量の炭・鉄滓を含む土が押し出されており、その堆積を除去していくと、標高5.6m付近で全身の人骨が残る墓坑を発見した。人骨は胡坐を組むように両足を折り曲げ、左手に小柄を握り、右脇からは6枚の銅銭を検出した。銅銭は「大定通宝」と無文銭5枚で、無文銭は方孔のしっかりした銭径約22mmのもので、堺環濠都市遺跡で作られた摸鑄銭の可能性もある。戦国時代の墓か。その下層からは製鉄遺構2基を発見した。同位置に重なって造り直されており、上面側の遺構は中央に本床状遺構を、その左右に小舟状遺構を配し、本床状遺構から湯溜状遺構に繋がる構造となっている。直接伴う遺物はないが、AMSによる年代測定では13世紀ごろと推定されている。製鉄遺構を除去すると縄文土器を含む包含層があり、その下面からは縄文後期と思われる石錘の集積や補修した石斧が出土する面を検出した。また、さらに下層からは縄文中期とみられる土器とともに焼土面が多数見つかかり、地床炉だったと思われる。

まとめ 今回の調査では江の川の近くで漁労に関わるとみられる縄文時代の生活面を検出したほか、類例の少ない戦国期の墓を発見した。また、中世にさかのぼる製鉄遺構を調査できた点は特筆される。近世の大規模な地下構造につながる構造の調査は、貴重な資料を提供した。(林 健亮)



船津遺跡の位置



戦国時代とみられる墓 (SK112)



中世にさかのぼる製鉄遺構 (製鉄遺構1)

3 斐伊川水系大橋川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受けたもので、平成24～25年度に竹矢地区で、平成30年度から朝酌地区、令和3年度から上流部の白潟地区で実施している。今年度は朝酌地区で朝酌矢田Ⅱ遺跡、白潟地区で松江城下町遺跡の発掘調査を行った。



朝酌矢田Ⅱ遺跡の位置

(1) 朝酌矢田Ⅱ遺跡 (K区・L区)

調査の概要 現地調査は、令和6年8月1日から12月16日まで、K区は面積160㎡、L区は面積300㎡を対象に調査員1名、調査補助員2名で実施した。

【L区】 調査地は矢田の渡しの東側、昨年度調査を行ったF区の南側に位置し、北側の丘陵から南側の大橋川に向かって傾斜する地形となっている。

遺跡の層序は、上から表土・造成土、近代以前の耕作土（以下、包含層と記載）、遺物を含まない青灰色砂層（無遺物層）の順に堆積していた。遺構は溝、掘立柱建物跡、石組み遺構、杭列などを検出したが、時期が不明または近世以降のものであった。包含層からは須恵器や土師器などの古墳時代から古代の遺物が少量ながら出土している。

【K区】 本調査区は大橋川とその周辺を見渡すことができる丘陵尾根の先端部に位置し、西側は令和4年度に調査したE区と接している。本調査区の層序は、上から表土、遺物を含まない褐色・白色土層（地山）の順に堆積しており、調査区の南側から東側にかけては造成土によって平坦面が拡張されている。調査区西側で四隅突出型墳丘墓（以下、四隅と記載）を検出した。

四隅は後世の土地の改変や流出により墳丘や貼石などの大部分が失われていたが、埋葬施設や東辺の貼石列・列石および区画溝が検出できた。貼石列・列石は長さ6.5mで、南から5.5mまでは直線的にのびているが、そこからは屈曲して外側へ張り出しており、北東隅の突出部ととらえられる。ただし、突出部先端は残っていなかった。墳丘の上部は後世の削平のため墳裾から高さ40cm程度しか残存しておらず、墳丘頂部に盛土が施されていたかは不明である。

埋葬施設は貼石列・列石に対して平行する形で検出されており、長軸約230cm×短軸約90cm



朝酌矢田Ⅱ遺跡 (K区・L区) 遠景



四隅突出型墳丘墓

×深さ約 10cm の規模で上部は削平を受けている。埋土からはガラス玉 1 点・鉄製品 2 点が出土した。四隅の築造時期は土器が出土しなかったことから特定できなかった。

このほかに、調査区の表土や造成土から古墳時代以降の須恵器片が出土している。弥生土器は出土しなかった。

まとめ L 区は包含層から古墳時代以降の須恵器や土師器が出土したが量は少なく、遺構は時期が不明なものや近世以降のものであった。遺跡の縁辺部にあたるものと考えられる。

K 区では四隅が 1 基確認された。朝酌町周辺で同墓が確認されたのは今回が初めてである。松江市内で確認されている四隅は弥生時代後期後葉以降に築造され、突出部を除く墳丘規模は一辺 15 m 以内と小型のものが多くことが特徴であり、本遺跡の四隅も同様の規模であると考えられる。また、墳裾の貼石・列石構造は墳裾から立石→敷石→貼石の順に積み上げられるもので、松江市内の橋北地区と意宇平野に分布する四隅と類似している。このことから、同市内における他の四隅と同じく弥生時代後期に築造されたと考えられる。

被葬者については、大橋川一帯を見渡す場所にあたることから矢田地区を含む大橋川流域を治めた有力者である可能性がある。(小田七奈)

(2) 松江城下町遺跡 (白潟本町 75-6 番地外) (八軒屋町 1 番地外)

調査の概要 松江城下町遺跡白潟 3 区は松江大橋南詰東側に位置している。調査区の地表面は標高 3.0 ~ 2.4 m ほどで、調査区の北には大橋川が東流し、調査区との間に市道が東西に延びる。調査区の西には松江大橋につながる県道母衣町雑賀町線が南北に走っている。

今回の調査では調査区内に白潟本町、八軒屋町、和多見町の境界が存在するため、町毎に別遺跡として登録しているが、便宜上、3 つの遺跡を合わせて「白潟 3 区」として実施している。なお昨年度は調査区の西端部を「白潟 3 A 区」とし、上層の調査を実施している。



松江城下町遺跡白潟地区の位置

遺構の概要 基本層序は、1 層：表土、2 層：19 世紀前半以降の造成土、3 層：18 世紀の包含層、4 層：17 世紀後半から前半にかけての包含層、5 層（白潟砂州）に分けられる。3 層および 4 層は時期により、上層と下層に分け調査を行った。

2 層上面で確認された遺構は石列、井戸跡が主である。石列は現在の地割りとほぼ同位置で確認されていることから町屋を区画するものだと考えられる。石列は来待石製の角柱状の石材が並べられたものとなっている。3 層で確認された遺構は礎石、石列、カマド跡、水琴窟跡などである。礎石・石列は上層が大海崎石製で、下層が大根島産の島石を多用している。上層で使用される大海崎石は比較的大型のもので、この時期に建物が瓦葺に変化したものと考えられる。4 層では溝跡、通路状の礫敷遺構、建物跡などが確認されている。5 層上面からは土坑や柱穴を検出した。層中からは玄武岩で根固めされた長さ約 160 cm、直径約 40 cm の大型の杭が出土した。

遺物の概要 出土遺物の時期は 15 世紀後半から 19 世紀であるが、主な時期は 17 世紀初頭以降



上空から見た松江城下町遺跡（北東から）



溝跡（北西から）

のものである。青磁や白磁の碗などの輸入陶磁器、唐津焼の碗や皿、備前焼播鉢や壺、古瀬戸皿などの国産陶磁器、羽口や鉄滓などの鍛冶関連遺物、銀秤の竿や分銅に古銭、鉄製の釘、提灯の金具などの金属製品、石臼などの石製品、漆塗り椀、下駄などの木製品、魚骨や獣骨、貝類などの動物遺存体等、多様な遺物が出土している。

まとめ 本遺跡の発掘調査では、近世の遺構と多種多様な遺物が確認された。今回の発掘調査で確認された最も古い遺構は17世紀初頭以前にさかのぼる大型の杭で、詳細は不明であるが、城下町成立以前の橋脚や棧橋の可能性が考えられる。一方、中世の護岸や建物は確認されなかった。西に接する2区では中世の護岸等の遺構や遺物が確認されており、白潟砂州の先端部の東西で橋を挟む形で、東西の土地利用が全く異なっていた可能性も考えられる。 (神柱靖彦)

Ⅶ 学術調査ほか

1 史跡出雲国府跡

調査概要 国庫補助事業として平成11(1999)年度から出雲国府跡の発掘調査を行っている。令和6年度は、昨年度検出した土手状高まり及び東西方向の溝の延長部分を確認するため、正殿東側、令和5年度調査区(T74)の西隣部分の28.5㎡を発掘調査した。現地調査は9月4日～11月27日まで、調査員1名、補助員2名で実施した。

遺構の概要 幅3m×長さ9.5mのトレンチ(T75)

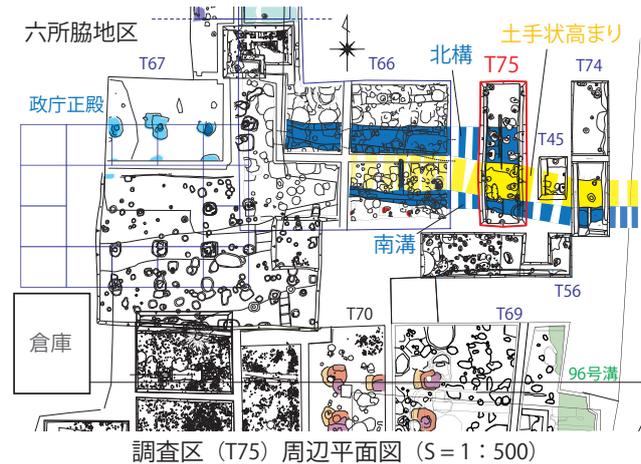
を1箇所設定し掘削を行った。今回の調査区は政庁域の東端付近に位置していたと考えられ、土層の堆積状況から古墳時代後期から飛鳥路時代(7世紀末頃)、奈良時代末頃から平安時代初め頃(8世紀末頃)、平安時代末頃(11世紀末頃)、中世以降の4時期に整地・造成が行われ各時期の遺構が存在することが確認された。このうち8世紀末頃には東西方向に延びる2条の溝とその間に築かれた土手状の高まりが検出された。この時期は政庁域の主要建物が掘立柱建物から礎石建物へと建て替えられるなど、政庁域で大規模な改修が行われた時期にあたり、政庁の東端付近にあたる今回の



史跡出雲国府跡の位置



調査状況（南から）



調査区 (T75) 周辺平面図 (S=1:500)

調査区でもその痕跡が確認された。また 11 世紀末以降のピット 35 基が検出され、礎盤石を伴うもの (8 基)、柱根が伴うもの (6 基) も確認された。柱根は分析の結果、すべて 15 ~ 17 世紀頃に伐採された木材が利用されていることがわかった。

遺物の概要 南北の溝からは 9 世紀中葉から 10 世紀前半の土師器 (坏) が出土した。調査区からは大量の水晶の原石が出土した。平安時代末以降の遺物包含層及びピットからは平坦面に白色物質が付着した粘土の塊が多数出土しており、建物等で使用された壁材の可能性が推測される。このほか調査区からは平安時代頃の土師器が多く出土した。

まとめ 出雲国府の成立から中世府中へと変遷する過程で政庁域がどのように利用・改変されていったのか検討するうえで、重要な手がかりが得られた。(伊藤智)

2 考古基礎資料調査研究 (墓制調査)

島根県埋蔵文化財調査センターと島根県古代文化センターは、「考古基礎資料調査 (墓制調査)」事業の一環として、島根県内に所在する重要古墳の調査を行っている。今年度は、松江市指定史跡堀部 1 号墳の発掘調査を実施した。

調査の概要 堀部古墳群は松江市鹿島町の講武平野北側の丘陵上に位置する。堀部古墳群は島根大学考古学研究会による測量調査、1996 ~ 1997 年にかけて試掘調査が行われ、12 基の古墳で構成されることが明らかとなっており、2004 (平成 16) 年に鹿島町指定史跡 (現・松江市指定史跡) に指定されている。堀部 1 号墳は古墳群中の最高所に位置する。島根大学考古学研究会によって、測量調査が実施され、直径 37m の造り出し付円墳 (造り出し込み 45.5m) と報告されている。近年の分布調査や地形の観察によって、前方後円墳の可能性が指摘されていたが、令和 5 年度に測量調査を実施した結果、全長約 70m の前方後円墳である可能性が高まった。

遺構の概要 堀部 1 号墳の墳形、墳丘構造、築造時期などの基礎的な情報を得ることを目的に 9 本のトレンチを設定し、発掘調査を実施した。

基本層序は墳頂部で表土、盛土の順で堆積していることを確認した。斜面部では表土、流土、地山の順で堆積している。以上、堆積状況から古墳築造にあたって、旧表土も含め地山を削り出し、墳頂部とその周辺にのみ盛土をしていることがわかる。墳頂部の盛土下からは粘土を検出した。この粘土範囲の外側を掘削すると板石や角礫が検出された。これらの石材は裏込めと考えられる。このことから埋葬施設は竪穴式石槨である可能性が高い。検出した粘土は竪穴式石槨の目張り粘土と



墳頂部の調査状況



竪穴式石槨を覆う目張り粘土

考えられる。検出した粘土の範囲は南北 6.5m、東西 2.5m で主軸は南北方向であると考えられ、埋葬施設も同規模かやや小さいものになると思われる。墓壙については明確なものは確認できていないが、古墳築造時に整地した地山から埋葬施設を構築していると考えられる。ただし、地山を掘削しているかどうかは不明である。地山よりも上については構築墓壙のように盛土で墓壙壁を形成している可能性がある。

遺物の概要 出土遺物としては墳頂部のトレンチで石柩の可能性のあるものが出土したほかに目立ったものはない。また、墳頂部盛土内からは玉砂利が複数出土した。盛土に際して玉砂利を散布している可能性がある。その他、前方部流土中からは古銭が出土した。

まとめ 前方部で盛土が確認されたことにより堀部 1 号墳は全長 70m の前方後円墳であることが確定した。また埋葬施設が後円部墳頂部に 1 基存在することも明らかとなった。埋葬施設としては竪穴式石槨を有する可能性がある。

時期を示す出土遺物がないことから明確な築造時期は把握できていないが、墳丘形態や埋葬施設の様相からは前期古墳として位置づけることができると考える。(吉松優希)

3 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

本事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施し、当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理を行い、その内容を明らかにするとともに、県民をはじめ一般に広く利用できるデータベース化を図ることを目的としている。

令和 3 年度から開始した西川津遺跡海崎地区（『西川津遺跡Ⅲ』（島根県教育委員会 1987）、『西川津遺跡Ⅳ』（同 1988）、『西川津遺跡Ⅴ』（同 1989））の再整理では、これまで整理作業を行ってきた土器の整理をもとに土器以外の出土遺物について所属時期を整理した。その上で遺物の出土地点や遺構配置などから集落変遷を明らかに、西川津遺跡の位置づけを改めて明確にすることができた。3 月にはこれらの成果をまとめた整理報告書を『島根県西川津遺跡出土品 2』として刊行した。

(真木大空)

4 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された多くの遺物は、木製品が水漬けパックに、金属製品が酸化防止システムでパックされた状態で「仮保管」されている。この「仮保管」状態では遺物の劣化が進みやすく、展示などでの活用に制限がかかる。これらの問題を解消するために、年間を通じて継続的に保存処理作業

を進めている。

水漬けの木製品は、主にトレハロースを含浸させる方法で保存処理を行っている。自然乾燥した木製品は、アクリル樹脂を塗布または含浸することで強化し、遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆、強化を行っている。処理後の遺物は温湿度管理下で保管し、上記以外の材質の遺物についても脆弱なものに対して随時処置を施している。赤外線観察・X線撮影については、当センターで調査・整理、保存処理している遺物のほか、市町村教育委員会から依頼を受けた遺物も対象として行っている。

その他、発掘現場で出土した脆弱遺物の取り上げを行った。

令和6年度 作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表1～4のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮し、保存処理計画を作成した。古代出雲歴史博物館の展示や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整し保存処理を進めている。赤外線観察・X線撮影は表5、6のとおり実施し、これらの分析結果は報告書作成等に反映している。

(木林俊英)

① 保存処理業務実績

表1 継続処理 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数	遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数	
朝酌川河川改修工事に伴う 西川津遺跡発掘調査報告書Ⅳ(海崎地区2)(1988)						朝酌川広域河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 13 西川津遺跡Ⅷ(2001)						
西川津	150 図-207	高坏未成品	トレハロース	処理済	1	西川津	103 図-1	白未成品	トレハロース	処理済	1	
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書10(2012)						古代出雲歴史博物館建設予定地内 埋蔵文化財発掘調査報告書(2004)						
山持	非掲載	SB01 建築材	トレハロース	含浸終了	12	五反配	非掲載	不明	トレハロース	含浸終了	1	
古代文化センター研究事業 テーマ研究 「島根県域における弥生社会の総合的研究」						一般国道9号(三俣益田道路)改築工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書3(2020)						
仁摩大寺	W22	建築材/壁?	トレハロース	処理済	7	上古市	55 図-1	建築材/屋根	トレハロース	含浸終了	6	
	W23	建築材/梁または桁					55 図-2					
	W25	建築材/垂木					57 図-5					不明
	W30	建築材/壁?					60 図-4 (一部)					建築材/桁
	W37	建築材/梁または桁					70 図-1					不明
	W39	建築材/梁または桁					74 図-7					建築材/屋根
	W42	建築材/壁										

表2 新規処理 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数	遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数
朝酌川河川改修工事に伴う 西川津遺跡発掘調査報告書Ⅳ(海崎地区2)(1988)						一般国道9号(朝山太田道路)改築工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書2(2017)					
西川津	142 図-164	杭	トレハロース	含浸中	1	荒槇	123 図-4	板状木製品	トレハロース	含浸中	1
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書(2005)						主要地方道松江島根線改築工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書2(2013)					
山持 vol.8	151 図-28	板状木製品	トレハロース	含浸中	2	西川津	203 図-5	杭	トレハロース	含浸中	2
	174 図-61	棒状木製品					203 図-7				

Ⅶ 学術調査ほか

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	点数
一般国道9号(三俣益田道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3(2019)					
上古市	52図-1	建築材/壁	トレハロース	含浸中	8
	52図-3				
	54図-1	建築材/妻壁?			
	57図-3	杭			
	60図-4	建築材/桁			
	62図-3	建築材/壁			
	64図-3	建築材/妻壁?			
	70図-4	不明			
非掲載	不明	5			
国道432号大庭バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1(2016)					
柳堀	27図-4	杭	トレハロース	含浸中	3
	28図-4	板状木製品			
茶臼	41図-6	棒状木製品			
一般国道9号(大田静岡道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2(2019)					
平ノ前	49図-13	棒状木製品	トレハロース	含浸中	1
一般国道9号(江津道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書2(1997)					
古八幡付近	89図-5	不明	トレハロース	含浸中	1
一般国道9号(出雲湖陵道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1(2017)					
麓II	83図-7	施設材 板	トレハロース	含浸中	2
	83図-8				

表3 新規処理 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	点数
富田川河床遺跡発掘調査報告 - III - (1983)						
富田川河床	12図-17	小柄	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸	処理済	8
	65図-3	八双金具				
	65図-4					
	65図-5					
	65図-6	鈴				
	非掲載-65	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸		
	非掲載-241	さじ	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸		
非掲載-244						
富田川 - 飯梨川河川改修に伴う富田川河床遺跡発掘調査報告書(4) - (1984)						
富田川河床	31図-28	鍬	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸	処理済	1
富田川河床遺跡の研究(2024)						
富田川河床	64図-5	古銭	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸	処理済	27
	64図-19					
	65図-11					
	65図-25					
	65図-34					
	65図-36					
	65図-39					
	66図-5					
	67図-4					
	67図-5	青銅座金具				
	67図-6	青銅責鞋				
	67図-8	青銅刀足金具	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸		
	67図-14	鉄砲玉				
	67図-15	鉄砲玉	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸		
	67図-32	刀子				
	68図-5	小札	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸		
	69図-1	青銅金具				
	69図-5	青銅製蓋	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸		
	69図-8	棒状青銅器				
	69図-23	鉄鏃	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸		
	69図-33	青銅不明				
70図-13	青銅鏢	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸			
70図-19	青銅弦					
70図-22	青銅煙管					
70図-34	鉄鏃	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイドNAD10)含浸			
71図-1	刀子					
71図-5	青銅仏花器	銅	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(バラロイドB72)含浸			

表4 石製品・土製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況	備考
一級河川江の川直轄河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 船津遺跡（桜谷鉦跡）					
船津遺跡	101 図 -1～2	炉壁	遺物強化（バインダー液）	処理済	

② 理化学分析

表5 X線撮影 ※令和6年4月1日～令和7年2月28日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	遺跡名	点数	備考	
4月	島根県埋蔵文化財調査センター 古代文化センター	船津	5		
		平ノ前	10		
5月	島根県埋蔵文化財調査センター	白潟3A区	300		
		白潟4A区	370		
7月	古代文化センター	古志本郷	1		
		雨乞山	4		
9月	島根県埋蔵文化財調査センター	船津	5		
白潟2区		20			
10月		船津	40		
11月		船津	2		
12月	島根県立八雲立つ風土記の丘	平所	140		
		御崎山	50	破片含む	
		船津	2		
		朝酌矢田2	2		
2月	松江市埋蔵文化財調査課	松江城下町	1		
		島根県埋蔵文化財調査センター	朝酌矢田2 K区	10	
			地藏山・大井谷	100	破片含む
			白潟3区	870	
			神崎横穴	50	破片含む
古代文化センター	堀部	1			
合計			1983		

表6 赤外線撮影 ※令和6年4月1日～令和7年2月28日までに依頼があったもの

実施日	依頼者	遺跡名	点数	備考
4月	島根県埋蔵文化財調査センター	白潟2区	3	
11月	松江市埋蔵文化財調査課	八幡鹿島	1	
2月		松江城下町	5	

5 試掘確認・分布調査

(1) 令和6年度 試掘確認調査実績

事業 (予算)	事業名	名称等 (試掘実施時)	所在地 (地番)	現地調査 期間	調査対 象面積	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要	本調査の要否 (本調査面積)	調査員
事業 (国事業)	一般国道 191号益田・ 田万川道路 建設事業予 定地	要注意箇所1	益田市飯浦町 (飯浦町イ 358)	令和6年 6月10日 ～21日	350㎡	トレンチ1カ所 (6.4㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田
		要注意箇所2	益田市飯浦町 (飯浦町口 110-9)		110㎡	トレンチ1カ所 (3.9㎡)	遺構なし 現代磁器	否	
		要注意箇所5	益田市小浜町 (小浜町 316 外)		3,000㎡	トレンチ4カ所 (24㎡)	遺構・遺物なし	否	
		要注意箇所6	益田市小浜町 (小浜町 362 外)		3,000㎡	トレンチ3カ所 (18㎡)	遺構・遺物なし	否	
		要注意箇所7	益田市戸田町 (戸田町口 162-1 外)		3,500㎡	トレンチ4カ所 (25.2㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田 阿部
		要注意箇所8	益田市戸田町 (戸田町口 143 外)		7,500㎡	トレンチ5カ所 (29.9㎡)	遺構なし トレンチ7から 加工痕のある木 片	否	

Ⅶ 学術調査ほか

事業(予算)	事業名	名称等 (試掘実施時)	所在地 (地番)	現地調査 期間	調査対 象面積	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要	本調査の要否 (本調査面積)	調査員			
(国事業)	一般国道 191号益田 西道路建設 事業予定地	要注意箇所 6	益田市戸田町・ 喜阿弥町 (戸田町イ 55-1 外)	令和 6 年 10 月 7 日 ～ 29 日	960㎡	トレンチ 2 カ所 (12.5㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田 阿部			
		要注意箇所 7	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町イ 1138-1 外)		1,580㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 8	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町イ 233 外)		770㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否	勝部 熱田 阿部			
		要注意箇所 9	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 770 外)		1,350㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田 阿部			
		要注意箇所 10	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 74 外)		9,060㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	勝部 熱田 阿部			
		要注意箇所 11	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 689-4)		340㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 12	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 689-7 外)		650㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田 阿部			
		要注意箇所 13	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町 689-7)		360㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 14	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 651-4 外)		950㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田 阿部			
		要注意箇所 15	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 651-1 外)		270㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 16	益田市喜阿弥町 (喜阿弥町口 218-1 外)		270㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否	勝部 熱田 阿部			
		要注意箇所 17	益田市白上町 (白上町イ 1618-3 外)		1,680㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 18	益田市白上町 (白上町イ 1610-2 外)		350㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	勝部 熱田 阿部			
		要注意箇所 19	益田市白上町 (白上町イ 1605)		90㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 20	益田市白上町 (白上町イ 1605)		400㎡	トレンチ 1 カ所 (6㎡)	遺構・遺物なし	否	熱田 阿部			
		要注意箇所 21	益田市白上町 (白上町イ 1598)		670㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否				
		要注意箇所 22	益田市白上町 (白上町イ 1488-1 外)		900㎡	トレンチ 3 カ所 (18㎡)	遺構なし トレンチ 3 から 近世陶器	R7 継続確認	熱田 阿部			
		要注意箇所 23	益田市白上町 (白上町イ 1454 外)		510㎡	トレンチ 2 カ所 (12㎡)	遺構・遺物なし	否	勝部 熱田 阿部			
		要注意箇所 24	益田市中垣内町 (中垣内町 1071-3 外)		4,750㎡	トレンチ 5 カ所 (30㎡)	遺構・遺物なし	否				
		大橋川河川 改修事業予 定地	要注意箇所		松江市朝酌町 (朝酌町 1021-1)	令和 6 年 12 月 19 日	470㎡	トレンチ 1 カ所 (8㎡)	遺構・遺物なし	否	伊藤 鈴木	
		(県事業)	松江北道路 建設予定地		要注意箇所 1-9	松江市下東川津町 (下東川津町 780-1 外)	令和 6 年 4 月 22 日 ～ 26 日	2,760㎡	トレンチ 2 カ所 (18㎡)	遺構・遺物なし ※未調査範囲あり	否	宮本 阿部
					要注意箇所 1-11 (井上古墳群)	松江市下東川津町 (下東川津町 744 外)		930㎡	トレンチ 3 カ所 (14㎡)	墳丘(古墳) 石器(弥生?)	要 (930㎡)	宮本
					要注意箇所 1-12 (井上古墳群)	松江市下東川津町 (下東川津町 675 外)		4,580㎡	トレンチ 5 カ所 (26㎡)	墳丘・主体部(古 墳) 土師器(古墳)	要 (3,620㎡)	
					要注意箇所 1-11	松江市下東川津町 (下東川津町 752 外)	令和 6 年 8 月 21 日 ～ 26 日	1,190㎡	トレンチ 2 カ所 (11㎡)	事業予定地拡張 に伴う追加調査	要 (1,190㎡)	勝部 宮本 阿部
要注意箇所 1-9	松江市下東川津町 (下東川津町 770-13 外)			令和 6 年 9 月 2 日 ～ 4 日	2,760㎡	トレンチ 3 カ所 (60㎡)	須恵器・土師器・ 弥生土器・石器・ 自然遺物(牛歯 等)※未調査範囲 あり	要 (100㎡)	勝部 阿部			
要注意箇所 1-3	松江市西持田町 (西持田町 485-1 外)			令和 6 年 11 月 25 日～ 12 月 10 日	9,130㎡	トレンチ 8 カ所 (100㎡)	弥生土器 須恵器	要 (未定)	熱田 宮本 阿部			
要注意箇所 1-8	松江市下東川津町 (下東川津町 29-1 外)			令和 7 年 1 月 20 日 ～ 22 日	13,510 ㎡	トレンチ 1 カ所 (23㎡)	遺構・遺物なし ※未調査範囲あり	否	宮本 阿部			
要注意箇所 1-6	松江市西持田町 (西持田町 443-1 外)				6,190㎡	トレンチ 1 カ所 (25㎡)	遺構・遺物なし ※未調査範囲あり	否	宮本			
大庭パイパ ス建設事業 予定地	大草地区			松江市大草町 (大草町 854-1 外)	令和 6 年 7 月 22 日 ～ 29 日	6,020㎡	トレンチ 4 カ所 (42㎡)	木製品(時期不明)	否	宮本		
	大庭地区		松江市大庭町 (大庭町團原 196 外)	330㎡		トレンチ 1 カ所 (4㎡)	柱穴・遺物包含層 (古代) 土師器・須恵器(古 代)	要 (330㎡)				

(2) 令和6年度 分布調査実績

事業(予算)	計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
分布調査 (国事業)	一般国道 191 号益田西道路予定地	益田市喜阿弥町、白上町、虫追町、内田町、飯田町	令和6年7月29・30日	益田市
	一般国道 191 号益田・田万川道路予定地	益田市飯浦町、小浜町	令和7年2月21日	益田市
分布調査 (県事業)	国道 431 号松江北道路改築事業予定地	松江市下東川津町	令和6年4月16日	松江市

VIII 県内調査一覧

市町村など(令和5年度1月4日以降に通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
1	散布地	高西遺跡	出雲市塩治町字有原 1728-2、1729	文財第 743 号 R6.1.18	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	石原 聡	335	6.1.26 ~ 6.3.15	宅地造成
2	散布地 古墳	八幡鹿島山遺跡	松江市八幡町 279-1	埋文第 649 号 R6.2.29	松江市長 上定昭仁	三宅和子	3.0	6.2.29 ~ 6.2.29	その他の建物
3	横穴墓	鍛冶床横穴群	松江市新庄町字姥ヶ谷北平 1311-3	埋文第 664 号 R6.3.11	松江市長 上定昭仁	川西学	12.5	6.3.11 ~ 6.3.30	その他開発 (最終処分場整備)
34	散布地	土屋川向遺跡	益田市美都町都茂 1130-2 他	益教文第 213 号 R6.3.12	益田市教育委員会 教育長 高市和則	佐伯昌俊	1,330	6.4.1 ~ 6.5.31	農業基盤整備 事業

市町村など(令和6年度12月27日までに通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
1	城下町	松江城下町遺跡(東本町一丁目2-1外)	松江市東本町1丁目2-1、4、5	埋文第 707 号 R6.3.29	松江市長 上定昭仁	永野智朗	60	6.4.2 ~ 6.4.30	集合住宅
2	集落跡 城館跡	小山遺跡・三木氏館跡	出雲市小山町 552-15、553-4、554-2、566-3、567-2	文財第 38 号 R6.4.17	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	須賀照隆	130.0	6.4.18 ~ 6.7.10	宅地造成
3	集落跡 古墳 生産遺跡	中野清水遺跡	出雲市中野町 590、591-1、591-2	文財第 41 号 R6.4.18	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	景山このみ	16.0	6.4.25 ~ 6.4.25	宅地造成
4	集落跡	有目遺跡	松江市野原町 582-1	埋文第 76 号 R6.5.13	松江市長 上定昭仁	川西学	6.0	6.5.13 ~ 6.5.17	その他開発 (駐車場)
4	城下町	松江城下町遺跡(魚町6-4外)(魚町7-5外)	松江市魚町6-4外、7-5外	埋文第 77 号 R6.5.13	松江市長 上定昭仁	小山泰生	13.5	6.5.20 ~ 6.8.31	その他の開発 (雨水渠)
6	城下町跡	中世七尾城下町遺跡	益田市七尾町イ 540-1 外 7 筆	益教文第 40 号 R6.5.28	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	佐伯昌俊	263	6.6.10 ~ 6.7.5	宅地造成
7	散布地 古墳	八幡鹿島山遺跡	松江市八幡町字の場 276-2、276-7	埋文第 60 号 R6.5.16	松江市長 上定昭仁	今岡友佳	577.8	6.5.20 ~ 6.9.30	その他の建物
8	散布地 古墳	八幡鹿島山遺跡	松江市八幡町字の場 276-2、276-7	埋文第 128 号 R6.6.13	松江市長 上定昭仁	永野智朗	40	6.6.17 ~ 6.7.31	保存目的の範囲内用確認調査
9	散布地	京殿遺跡	松江市上本庄町 1461-5	埋文第 151 号 R6.6.25	松江市長 上定昭仁	小山泰生	4.5	6.6.27 ~ 6.6.27	個人住宅
10	集落跡	東原遺跡	出雲市知井宮町 403	文財第 259 号 R6.7.11	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	景山このみ	30	6.7.18 ~ 6.7.18	宅地造成
11	集落跡	麓II遺跡	出雲市東神西町 791-1	文財第 286 号 R6.7.23	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	景山このみ	8.0	6.7.30 ~ 6.7.30	ガス・電気・水道等

Ⅷ 県内調査一覧

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
12	生産遺跡	菅谷鉦跡	雲南市吉田町吉田 地内	雲教文第 121 号 R6.7.19	雲南市教育委員会 教育長 小田川徹哉	志賀 崇	29	6.7.29 ~ 6.12.27	遺跡整備
13	城下町	中世七尾城下 町遺跡	益田市七尾町イ 11-4	益教文第 91 号 R6.7.18	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	佐伯昌俊	4	6.7.29 ~ 6.7.31	個人住宅
14	集落跡	山持遺跡	出雲市西林木町 694-1、694-2、 695-1	文財第 338 号 R6.8.9	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	景山このみ	14	6.8.19 ~ 6.8.19	宅地造成
15	集落跡	松本遺跡 福富 I 遺跡	松江市乃木福富町 地内	埋文第 231 号 R6.8.23	松江市長 上定昭仁	森山優花	726	6.8.26 ~ 7.1.31	宅地造成
16	その他の遺 跡(城下町遺 跡)	中世七尾城下 町遺跡	益田市幸町口 1849-2、口 1849- 5	益教文第 111 号 R6.8.22	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	原 浩平	4	6.8.26 ~ 6.8.30	個人住宅
17	その他の遺 跡(城下町遺 跡)	中世七尾城下 町遺跡	益田市幸町口 1830-3、-4、-5	益教文第 114 号 R6.8.26	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	原 浩平	4	6.8.29 ~ 6.8.29	個人住宅
18	散布地	物井遺跡	隠岐郡西ノ島町 大字宇賀字物井 312、314-1	西教教第 76 号 R6.8.21	西ノ島町教育委員会 教育長 澤純子	宮本正保	220	6.9.9 ~ 6.11.15	その他の開発 (治山事業)
19	散布地	矢原遺跡	浜田市三隅町矢 原 553-1、555-1、 555-3	教文第 242 号 R6.8.30	浜田市教育委員会 教育長 岡田泰宏	藤田大輔	43.5	6.10.1 ~ 6.12.27	ダム
20	集落跡	法吉二反田 II 遺跡	松江市法吉町 271、121-1、 272、272-1、 273、273-1、277	埋文第 265 号 R6.9.17	松江市長 上定昭仁	永野智朗	13.5	6.9.24 ~ 6.9.27	その他の開発 (土地の売買)
21	集落跡	中野西遺跡	出雲市中野美保北 2 丁目 3-2、3-3、 3-4	文財第 406 号 R6.9.17	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	須賀照隆	18	6.9. 下 旬 ~ 6.9. 下 旬	集合住宅
22	城下町跡	中世七尾城下 町遺跡	益田市七尾町イ 540-3	益教文第 148 号 R6.9.26	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	佐伯昌俊	3	6.10.7 ~ 6.10.11	個人住宅
23	散布地	寺ノ脇遺跡	松江市手角町寺ノ 脇ほか	埋文第 308 号 R6.10.10	松江市長 上定昭仁	小山泰生	4.5	6.10.11 ~ 6.10.15	個人住宅
24	城下町跡	中世七尾城下 町遺跡	益田市染羽町口 215-1	益教文第 164 号 R6.10.16	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	佐伯昌俊	4.5	6.10.21 ~ 6.10.25	個人住宅
25	城館跡	松江城	松江市殿町 457- 1、458、459-1、 459-2	埋文第 330 号 R6.10.30	松江市長 上定昭仁	小山泰生	9	6.10.31 ~ 6.11.1	個人住宅
26	散布地	中山丘陵遺跡	出雲市大津町 2709-14、3576- 4、3576-1 ほか	文財第 489 号 R6.10.25	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	景山このみ	15	6.11.5 ~ 6.11.8	集合住宅
27	集落跡	法吉二反田 II 遺跡	松江市法吉町 271、271-1、 272、272-1、 273、273-1、 277、277-1	埋文第 365 号 R6.11.26	松江市長 上定昭仁	永野智朗	4,560	6.11.26 ~ 7.2.28	宅地造成
28	散布地	本驛遺跡	江津市二宮町神主 イ 1080-1 (至) 同 イ 1158-1	江教社第 222 号 R6.12.3	江津市教育委員会 教育長 堀康弘	持田直人	1,700	6.12.16 ~ 7.3.31	道路
29	古墳	上浜弓古墳群	松江市西川津町字 前菅田 927-1 他	埋文第 385 号 R6.12.11	松江市長 上定昭仁	川西 学	22.5	6.12.13 ~ 6.12.27	宅地造成 集合住宅
30	集落跡	渡橋沖遺跡	出雲市渡橋町 971、967	文財第 585 号 R6.12.16	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	景山このみ	12	6.12.17 ~ 6.12.17	宅地造成
31	集落跡 官衙跡 古墳	古志本郷遺跡	出雲市古志町 1125-5	文財第 600 号 R6.12.23	出雲市教育委員会 教育長 杉谷学	須賀照隆	530.0	7.1.6 ~ 7.3.31	集合住宅
32	城下町跡	中世七尾城下 町遺跡	益田市染羽町口 59-3、口 59-4	益教文第 194 号 R6.12.17	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	佐伯昌俊	3.75	6.12.23 ~ 6.12.25	個人住宅
33	城下町跡	中世七尾城下 町遺跡	益田市七尾町 4-41	益教文第 201 号 R6.12.25	益田市教育委員会 教育長 領家芳明	原 浩平	4.20	7.1.14 ~ 7.1.24	その他の建物 (事務所)

県（令和6年度12月27日までに通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書					調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (m ²)	発掘予定期間	
1	古墳 横穴墓	井上古墳群	松江市下東川津町 1348、1351-1、1351-3、1347	島教埋第 40 号 R6.4.17	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	18	6.4.22～ 6.4.30	令和6年度 松江北道路 建設事業
2	散布地	船津遺跡	江津市松川町 171 他	島教埋第 56 号の 2 R6.4.22	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	林 健亮	500	6.5.13～ 6.8.31	令和6年度 一級河川江 の川直轄河 川改修事業
4	集落跡	松江城下町遺跡（白潟本町 75-6 外） 松江城下町遺跡（八軒屋町 1 外）	松江市白潟本町 75-6 外 松江市八軒屋町 1 外	島教埋第 56 号 R6.4.22	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	神柱靖彦	300	6.5.7～ 6.12.28	令和6年度 斐伊川水系 大橋川河川 改修事業
5	散布地 集落跡 生産遺跡	郷路橋遺跡	邑智郡邑南町市木 1363-2	島教埋第 56 号の 3 R6.5.13	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	大庭俊次	624	6.6.5～ 6.9.6	令和6年度 浜田自動車 道 4 車線化 事業
6	集落跡	朝酌矢田 II 遺跡	松江市朝酌町 1020-1 外	島教埋第 56 号の 4 R6.6.25	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	鈴木七奈	405	6.7.22～ 6.9.30	令和6年度 斐伊川水系 大橋川河川 改修事業
7	古墳 横穴墓	堀部 1 号墳	松江市鹿島町北講武 885-1、南講武 937、940、943、944	島教文財第 555 号 R6.9.11	島根県教育庁文化財課文化財課長（古代文化センター）	吉松優希	330	6.10.1～ 7.3.31	墓制調査

IX 刊行物

1 報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
『郷路橋遺跡』 浜田自動車道 4 車線化に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書	268	大庭俊次	大鍛冶場跡から排出されたと考えられる鍛冶関連遺物による埋立を 3 カ所検出した。水田床土の一部として敷きならして埋め立てられたと考えられる。共存する陶磁器から 19 世紀代後半、近代以降に埋め立てられたものと考えられる。
『島根県西川津遺跡出土品 2』 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所 蔵資料再整理事業報告書 3	600	真木大空	当報告書は、昭和 58～60 年度に島根県教育委員会が朝酌川河川改修に伴い実施した、西川津遺跡の発掘調査資料について再整理を行った成果報告である。当事業は、過去に調査を実施した総ての出土資料のデータベース化を第一義的な目的として実施した。今回の再整理では、①各層位に含まれる土器の計量によって土層堆積時期と遺跡の埋没過程を明らかにした、②土層堆積状況と土器の統計的整理によって遺構や土器以外の遺物の所属時期を特定した、③石器、玉類、木器、骨角器の時期別様相、素材の利用比率、製作技術の検討などから西川津遺跡における手工業生産の様相を端的に示した、④動物遺存体の基礎整理によって弥生時代の狩猟・動物利用の様相を把握した、など多くの成果をえることができた。 総括では、再整理により確認できた新たな知見を踏まえ、隣接する鶴場地区の集落動態と比較することにより西川津遺跡の集落構造や変遷過程を明らかにし、改めて拠点集落としての当該遺跡の位置付けを確認した。

2 パンフレット

名称	部数	概要
シリーズしまねの遺跡 発掘調査パンフレット 14 船津遺跡	3,000	たたら製鉄の高殿地下構造が良好な状態で見つかった江津市船津遺跡。中国地方最大級の江の川下流域に築かれた製鉄遺跡の構造や意義について、わかりやすく解説したパンフレット。A4 カラー 8 頁。

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 33

— 令和6年度 —

発行 2025年（令和7年）3月

編集 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131 松江市打出町 33 番地

【電話】 0852-36-8608

【Eメール】 maibun@pref.shimane.lg.jp

【ホームページ】 <https://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

